

令和7年5月16日

オープンカウンター参加者各位

四條畷市総務部総務課

見積書くじの採用について

令和7年5月16日以後に当課が公開するオープンカウンター案件において、落札となるべき同額の見積りをした者が2者以上あるときは、次のとおり「見積書くじ」により落札者を決定しますので、ご理解とご協力をお願いします。

見積書くじの概要

落札となるべき同額の見積りをした全ての者(くじ対象者)がそれぞれ任意に指定した0～999までの数字(くじ番号)を合計し、その合計をくじ対象者数で除した余りの値が、あらかじめ各くじ対象者に割り当てた番号と一致する者を落札者とする。

なお、「くじ番号」は、各くじ対象者が見積書により指定することとする。

見積書くじのイメージ

くじ対象者 番号	くじ対象者	フリガナ	くじ番号	くじ計算	落札者
0	四條畷商店	シヨウナワテ	2	577 ÷ 2 =288 余り 1	
1	忍ヶ丘商会	シノガカ	575		落札

※くじ対象者番号は、五十音順に付す。 (合計) 577 (対象者数) 2

見積書くじの手順

1. くじ番号の指定

オープンカウンターの見積書に0～999までの数字(くじ番号)を記入し、当課に提出する。

2. くじ対象者番号の割り当て

当課において、同価の見積書を提出した者をくじ対象者とし、氏名または名称の五十音順(フリガナ順)に、0、1、2・・・と、くじ対象者番号を割り当てる。

なお、くじ対象者の氏名または名称については、法人の種類を表す部分については除くものとする。アルファベットはエー、ビー、シー・・・とする。

3. くじ番号の合計

各くじ対象者が見積書に記載した数字(くじ番号)を合計する。

4. 落札業者の決定

3で求めた合計を、くじ対象者数で除し、余りを求める。

その余りの値が、2で割り当てたくじ対象者番号に一致する者を落札者とする。

落札となるべき同額の見積りを行った業者が2者あった場合の例

1. くじ対象者番号の割り当て

(有)田原商会・・・くじ対象者番号0

(株)中野販売・・・くじ対象者番号1

※(有)や(株)は除いた名称の五十音順で割り当てる。

2. くじ番号の合計

(有)田原商会が見積書で指定した数字 8

(株)中野販売が見積書で指定した数字 123 合計 131

3. 落札業者の決定

2の合計(131)をくじ対象者数(2者)で除した余りを求める。

〈計算式〉 $131 \div 2 = 65 \text{ 余り } 1$

くじの結果、1で割り当てたくじ対象者番号が1の(株)中野販売を落札者とする。